

**IBM InfoSphere Information Server**  
バージョン 11 リリース 3

**Distributed Transaction ステ  
ージ メッセージ・リファレンス**





**IBM InfoSphere Information Server**  
バージョン 11 リリース 3

**Distributed Transaction ステ  
ージ メッセージ・リファレンス**



**お願い**

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、17 ページの『特記事項および商標』に記載されている情報をお読みください。

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原典： SC19-4353-00  
IBM InfoSphere Information Server  
Version 11 Release 3  
Distributed Transaction Stage Message Reference

発行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担当： トランスレーション・サービス・センター

© Copyright IBM Corporation 2014.

---

## 目次

Distributed Transaction ステージのメッセージ . . . . .	1	付録 D. IBM の窓口 . . . . .	13
付録 A. 製品のアクセシビリティ . . . . .	7	付録 E. 製品資料へのアクセス . . . . .	15
付録 B. コマンド・ライン構文の読み方 . . . . .	9	特記事項および商標 . . . . .	17
付録 C. 構文図の見方 . . . . .	11	索引 . . . . .	23



---

## Distributed Transaction ステージのメッセージ

このメッセージ・リファレンスには、Distributed Transaction ステージのさまざまなコンポーネントから返されるメッセージが含まれています。

Distributed Transaction ステージがインストールされているオペレーティング・システムの機能に精通している必要があります。本メッセージ・リファレンスの情報を使用して、エラーや警告を特定し、適切なリカバリー・アクションによって問題を解決することができます。また、この情報を使用して、メッセージが生成され記録される場所を確認できます。

パラレル・エンジンは、インストール中、ファイルの書き込みまたは読み取り中、および一般的な製品使用中に発生したエラーに関するメッセージを生成します。メッセージ情報は、エラーのタイプを記述し、そのエラーの発生理由を説明し、それらに対処する解決策を提示します。

各メッセージには、接頭部 (HS) とメッセージ番号から構成されるメッセージ ID があります。メッセージは、メッセージ番号に基づいて番号順にリストされています。メッセージ・タイプには、エラー、警告、および通知の 3 種類があります。E で終わるメッセージ ID はエラー・メッセージです。W で終わるメッセージ ID は、警告を示しています。I で終わるメッセージ ID は通知メッセージを示しています。

メッセージ中にある {0} 記号は、コードによって返される変数を示しています。この変数は、生成されたメッセージに固有の値またはプロパティのいずれかを示しています。

エラーの詳細は、IBM® InfoSphere™ DataStage® and QualityStage™ ディレクター・クライアントのログ・ファイルで確認できます。

---

**IIS-CONN-NGBR-0052E MQ サーバー・ライブラリーを開くことができませんでした。{ライブラリーをロードするために呼び出されるメソッド名} メソッド呼び出しは失敗しました。エラー・コード: {エラー・コード}、エラー・メッセージ: {エラー・メッセージ}**

**説明:** このメソッドは、Distributed Transaction ステージに必要な WebSphere MQ ライブラリーのロードに失敗しました。

**ユーザーの処置:** 以下の作業を実行してください。

- Distributed Transaction ステージが実行されるすべての計算ノード上に WebSphere MQ サーバーがインストールされていることを確認します。
- WebSphere MQ サーバー・ライブラリーのパスがライブラリー・パスにあることを確認します。

- インストール済みの WebSphere MQ ライブラリー・ファイルが破壊されていないことを確認します。

---

**IIS-CONN-NGBR-0053E MQ メソッドを解決できませんでした。{MQ API アドレスを取得するために呼び出されるメソッド名} メソッド呼び出しは失敗しました。エラー・コード: {エラー・コード}、エラー・メッセージ: {エラー・メッセージ}**

**説明:** このメソッドでは WebSphere MQ API アドレスを解決できませんでした。

**ユーザーの処置:** 以下の作業を実行してください。

- インストール済み WebSphere MQ サーバーのバージョンが Distributed Transaction ステージでサポートされていることを確認します。
- インストール済みの WebSphere MQ ライブラリー・ファイルが破壊されていないことを確認します。

**IIS-CONN-NGBR-0054E** トランザクション・マネージャー {キュー・マネージャー名} への接続により、次が返されました。完了コード: {完了コード}、理由コード: {理由コード}、キュー・マネージャー・ハンドル: {キュー・マネージャー・ハンドル}

**説明:** コネクターがキュー・マネージャーに接続できないと、エラー・メッセージがログに記録されます。コネクターがキュー・マネージャーに正常に接続すると、通知メッセージがログに記録されます。コネクターがキュー・マネージャーに警告ありで接続すると、警告メッセージがログに記録されます。

**ユーザーの処置:** メッセージがエラーとしてログに記録された場合は、以下の作業を行ってください。

- キュー・マネージャー名が正しく指定されていることを確認します。
- 指定したキュー・マネージャーが実行中であることを確認します。

完了コードおよび理由コードについて詳しくは、WebSphere MQ 資料を参照してください。

**IIS-CONN-NGBR-0055E** {キュー・マネージャー名} 上のキュー {キュー名} のオープンにより、次が返されました。完了コード: {完了コード}、理由コード: {理由コード}、キュー・ハンドル: {キュー・ハンドル}

**説明:** 作業キューへの接続に失敗すると、エラー・メッセージがログに記録されます。Distributed Transaction ステージが作業キューに正常に接続すると、通知メッセージがログに記録されます。Distributed Transaction ステージが作業キューに警告ありで接続すると、警告メッセージがログに記録されます。

**ユーザーの処置:** メッセージがエラーとしてログに記録された場合は、キュー名が正しく指定されているかどうかを確認してください。完了コードおよび理由コードについて詳しくは、WebSphere MQ 資料を参照してください。

**IIS-CONN-NGBR-0056E** トランザクション・マネージャー {キュー・マネージャー名} 上の分散トランザクションの開始により、次が返されました。完了コード: {完了コード}、理由コード: {理由コード}

**説明:** Distributed Transaction ステージが XA トランザクションを開始できない場合、エラー・メッセージがログに記録されます。Distributed Transaction ステージが

XA トランザクションを正常に開始すると、通知メッセージがログに記録されます。Distributed Transaction ステージが XA トランザクションを警告ありで開始すると、警告メッセージがログに記録されます。

**ユーザーの処置:** メッセージがエラーとしてログに記録された場合は、XA リソースが正しく構成されているかどうかを確認してください。完了コードおよび理由コードについて詳しくは、WebSphere MQ 資料を参照してください。

**IIS-CONN-NGBR-0057E** キュー {キュー名} からのメッセージの取得により、次が返されました。完了コード: {完了コード}、理由コード: {理由コード}、メッセージ ID: {メッセージ ID}

**説明:** Distributed Transaction ステージが作業キューからメッセージを取得できないと、エラー・メッセージがログに記録されます。Distributed Transaction ステージが作業キューからメッセージを正常に取得すると、通知メッセージがログに記録されます。

**ユーザーの処置:** メッセージがエラーとしてログに記録された場合は、WebSphere MQ 資料に記載されている完了コードおよび理由コードについての情報を使用して、エラーのトラブルシューティングを行ってください。

**IIS-CONN-NGBR-0058E** キュー・マネージャー {キュー・マネージャー名} 上の分散トランザクションのコミットにより、次が返されました。完了コード: {完了コード}、理由コード: {理由コード}

**説明:** Distributed Transaction ステージがキュー・マネージャーから XA トランザクションをコミットできないと、エラー・メッセージがログに記録されます。

Distributed Transaction ステージがキュー・マネージャーから XA トランザクションを正常にコミットすると、通知メッセージがログに記録されます。

**ユーザーの処置:** メッセージがエラーとしてログに記録された場合は、WebSphere MQ 資料に記載されている完了コードおよび理由コードについての情報を使用して、エラーのトラブルシューティングを行ってください。

**IIS-CONN-NGBR-0059E** キュー・マネージャー {キュー・マネージャー名} 上の分散トランザクションのロールバックにより、次が返されました。完了コード: {完了コード}、理由コード: {理由コード}

**説明:** XA トランザクションがロールバックされないと、エラー・メッセージがログに記録されます。XA トランザクションが正常にロールバックされると、通知メ



ッセージがログに記録されます。

**ユーザーの処置:** メッセージがエラーとしてログに記録された場合は、WebSphere MQ 資料に記載されている完了コードおよび理由コードについての情報を使用して、エラーのトラブルシューティングを行ってください。

---

**IIS-CONN-NGBR-0060W キュー {キュー名} のクローズにより、次が返されました。完了コード: {完了コード}、理由コード: {理由コード}**

**説明:** 作業キューがクローズされない、または警告ありでクローズされると、警告メッセージがログに記録されます。作業キューが正常にクローズされると、通知メッセージがログに記録されます。

**ユーザーの処置:** メッセージが警告としてログに記録された場合は、WebSphere MQ 資料に記載されている完了コードおよび理由コードについての情報を使用して、警告のトラブルシューティングを行ってください。

---

**IIS-CONN-NGBR-0061W トランザクション・マネージャー {キュー・マネージャー名} からの切断により、次が返されました。完了コード: {完了コード}、理由コード: {理由コード}**

**説明:** Distributed Transaction ステージがキュー・マネージャーから切断できない、または警告ありで切断されると、警告メッセージがログに記録されます。

Distributed Transaction ステージがキュー・マネージャーから正常に切断されると、通知メッセージがログに記録されます。

**ユーザーの処置:** メッセージが警告としてログに記録された場合は、WebSphere MQ 資料に記載されている完了コードおよび理由コードについての情報を使用して、警告のトラブルシューティングを行ってください。

---

**IIS-CONN-NGBR-0062E {メモリー・サイズ} バイトのメモリーの割り振りで、メモリー割り振りエラーが発生しました**

**説明:** オペレーティング・システム上でメモリーが使用可能でないため、メモリーは割り振られませんでした。

**ユーザーの処置:** オペレーティング・システムに十分な物理メモリーがあるようにしてください。メモリー・サイズについて詳しくは、InfoSphere Information Server のシステム要件を参照してください。

---

**IIS-CONN-NGBR-0063E キュー {キュー名} へのメッセージのプットにより、次が返されました。完了コード: {完了コード}、理由コード: {理由コード}、メッセージ ID: {メッセージ ID}**

**説明:** Distributed Transaction ステージがキュー上にメッセージを置くことができなかった場合、エラー・メッセージがログに記録されます。Distributed Transaction ステージがキュー上にメッセージを正常に置いた場合、通知メッセージがログに記録されます。

**ユーザーの処置:** メッセージがエラーとしてログに記録された場合は、WebSphere MQ 資料に記載されている完了コードおよび理由コードについての情報を使用して、エラーのトラブルシューティングを行ってください。

---

**IIS-CONN-NGBR-0069E DTS\_msgID 列が見つかりません**

**説明:** 「MQ メッセージングを使用する」プロパティが「はい」に設定されている場合、データ・エレメント値として「WSMQ.MSGID」が指定されている列が入力リンクに含まれている必要があります。

**ユーザーの処置:** それぞれの入力リンクについて、InfoSphere DataStage 列定義で「WSMQ.MSGID」データ・エレメント値を持つ列を追加してください。

---

**IIS-CONN-NGBR-0072W 入力リンク {リンク番号} について、「レコード・カウント」プロパティを 0 に変更します**

**説明:** コネクターが Distributed Transaction ステージであるか、または複数の入力リンクが定義されている場合、「レコード・カウント」プロパティは「0」に設定されている必要があります。

**ユーザーの処置:** ジョブの実行時にこのメッセージが生成されないようにするには、「レコード・カウント」プロパティを「0」に設定してください。

---

**IIS-CONN-NGBR-0074E Distributed Transaction ステージは、入力リンク {リンク番号} 上で、以前にリジェクトされたレコードを検出しました。**

**説明:** Distributed Transaction ステージは、ジョブで以前のあるステージによってリジェクトされたレコードを受け取りました。リジェクトされたレコードは処理されませんでした。そのステージは他のレコードの処理を続行しました。

**ユーザーの処置:** このメッセージの前に表示されているメッセージを使用して、レコードが他のステージによ

てリジェクトされた理由を判別してください。

---

**IIS-CONN-NGBR-0075E Distributed Transaction** ステージは、{エラーしきい値} のエラーしきい値に到達したことを検出しました。失敗した作業単位のカウンタは {失敗した作業単位の数} です。

**説明:** 失敗したトランザクションの数が「この多数の失敗の後に異常終了」プロパティで指定されたしきい値より大きい場合、ジョブが停止しました。

**ユーザーの処置:** 失敗したトランザクションの数と関係なくジョブを完了させるには、「この多数の失敗の後に異常終了」プロパティを「0」に設定してください。

---

**IIS-CONN-NGBR-0082W Distributed Transaction** ステージに状況リンクがありません。

**説明:** 「MQ メッセージングを使用する」プロパティが「いいえ」に設定されているが、状況情報で使用可能なリンクがありません。「MQ メッセージングを使用する」プロパティを「はい」に設定すると、失敗したトランザクションは作業キューに残るため、未処理レコードを表示することができます。一方、「MQ メッセージングを使用する」プロパティが「いいえ」に設定されている場合は、トランザクションの結果にかかわらず、すべてのレコードがコンシュームされます。

**ユーザーの処置:** 各トランザクションの状況を知る必要がない場合は、このメッセージを無視してかまいません。各トランザクションの状況を知る必要がある場合は、状況情報用のリンクを追加するか、「MQ メッセージングを使用する」プロパティを「はい」に設定してください。

---

**IIS-CONN-NGBR-0083E** 列 {フィールド・パス} のデータ・エレメント定義がありません。状況リンクのすべてのフィールドはデータ・エレメントとして定義される必要があります。

**説明:** 状況リンク上の列にデータ・エレメントが定義されていません。

**ユーザーの処置:** 状況リンク上のすべての列定義に必ず有効なデータ・エレメントを指定してください。状況リンクの有効なデータ・エレメントには、接頭部「DTS.STATUS」が含まれています。

---

**IIS-CONN-NGBR-0084E** フィールド {フィールド・パス} のデータ・エレメント {データ・エレメント名} は、状況リンクには無効です。

**説明:** 状況リンク上の列に無効なデータ・エレメントが定義されていました。

**ユーザーの処置:** 状況リンク上のすべての列定義に必ず有効なデータ・エレメントを指定してください。状況リンクの有効なデータ・エレメントには、接頭部「DTS.STATUS」が含まれています。

---

**IIS-CONN-NGBR-0085E Distributed Transaction** ステージには、複数の状況リンクがあってはけません。

**説明:** Distributed Transaction ステージは、状況リンクを 1 つのみ持つことができます。

**ユーザーの処置:** Distributed Transaction ステージに状況リンクが 1 つのみあることを確認してください。

---

**IIS-CONN-NGBR-0086E** 状況リンクのスキーマ ( {スキーマ・ストリング} ) の作成でエラーがあります: {エラーの説明}

**説明:** 状況リンクのスキーマが作成されませんでした。

**ユーザーの処置:** このエラーの詳細情報を使用して、エラーのトラブルシューティングを行ってください。エラーが続く場合は、ジョブ・ログおよびジョブ・デザインを収集し、IBM ソフトウェア・サポートに連絡してください。ジョブ・デザインは .dsx ファイルまたは .isx ファイルとしてエクスポートできます。IBM ソフトウェア・サポートに連絡する前に収集する必要がある特定のログと情報については、IBM Knowledge Center の InfoSphere Information Server のトラブルシューティングのトピックを参照してください。他のユーザーと共有できるようにジョブ・デザインを .dsx ファイルとしてエクスポートする方法については、IBM Knowledge Center の InfoSphere DataStage and QualityStage ジョブのデザインに関するトピックを参照してください。他のユーザーと共有できるようにジョブ・デザインを .isx ファイルとしてエクスポートする方法については、IBM Knowledge Center の InfoSphere DataStage のジョブのデプロイおよびバージョン管理のアクセスに関するトピックを参照してください。

---

**IIS-CONN-NGBR-0087I** 状況リンクのスキーマ ( {スキーマ・ストリング} ) を作成しました

**説明:** CC\_MSG\_LEVEL 環境変数が 2 以下の値に設定されている場合に、このメッセージはログに記録されます。状況リンクのスキーマは正常に作成されています。

**ユーザーの処置:** アクションは不要です。

---

**IIS-CONN-NGBR-0088E Distributed Transaction** ステージには少なくとも 1 つのターゲット・リンクが必要です。

**説明:** Distributed Transaction ステージには、1 つ以上の入力リンクが必要です。

**ユーザーの処置:** Distributed Transaction ステージに 1 つ以上の入力リンクがあるか確認してください。

---

**IIS-CONN-NGBR-0092E** 予約された列名 {フィールド・パス} は、データ・エレメント {データ・エレメント名} には無効です。

**説明:** この列には予約された列名が使用されていますが、無効なデータ・エレメントがその列に指定されています。

**ユーザーの処置:** 予約された列名を別の列名に変更してください。

---

**IIS-CONN-NGBR-0093E** 入力リンク {リンク番号} で、メッセージ ID 列の {フィールド・パス} と {フィールド・パス} が重複しています。

**説明:** 複数の列に、WebSphere MQ メッセージ ID として使用される WSMQ.MSGID データ・エレメントがあります。

**ユーザーの処置:** 列のいずれか 1 つを削除してください。

---

**IIS-CONN-NGBR-0094E** 入力リンク {リンク番号} で、リジェクトされたフラグ列の {フィールド・パス} と {フィールド・パス} が重複しています。

**説明:** 複数の列に DTS.REJECTED データ・エレメントがあります。

**ユーザーの処置:** 列のいずれか 1 つを削除してください。

---

**IIS-CONN-NGBR-0095E** 入力リンク {リンク番号} で、リジェクトされたメッセージ列の {フィールド・パス} と {フィールド・パス} が重複しています。

**説明:** 複数の列に DTS.REJECTED.MESSAGE データ・エレメントがあります。

**ユーザーの処置:** 列のいずれか 1 つを削除してください。

---

**IIS-CONN-NGBR-0099W Distributed Transaction** ステージがエラーを検出しました。

**説明:** Distributed Transaction ステージでのトランザクションがターゲット・データ・ソースにロードされませんでした。

**ユーザーの処置:** このメッセージの前にログに記録されているメッセージの情報を使用して、エラーのトラブルシューティングを行ってください。

---

**IIS-CONN-NGBR-0100E** リンク {リンク番号} に指定されたコネクタ・タイプは、DTS によってサポートされません。

**説明:** 指定したコネクタ・タイプは Distributed Transaction ステージによってサポートされていません。

**ユーザーの処置:** このメッセージは、パッチ・レベルがコンポーネント間で一貫していないことを示しています。Version.xml でパッチのインストール履歴を参照して、事前に必要なパッチがすべてインストール済みであることを確認してください。

---

**IIS-CONN-NGBR-0102I** キュー名 ({キュー名}) が見つかりませんでした。コネクタは、この名前を持つ名前リストからキューのオープンを試行します。

**説明:** 指定したキュー名が存在しないため、Distributed Transaction ステージがキューに接続できませんでした。ステージは、指定したキュー名を持つ名前リストを使用して、接続を試みます。

**ユーザーの処置:** 名前リストを使用しない場合、アクションは不要です。キュー名を使用する場合は、{キュー名} プロパティに有効なキュー名を指定してください。

---

**IIS-CONN-NGBR-0103E** オブジェクト照会が次の理由コードで失敗しました: {理由コード} ({理由コード名})

**説明:** Distributed Transaction ステージは名前リストからキュー名を取得できませんでした。

**ユーザーの処置:** 理由コードを使用して、エラーのトラブルシューティングを行ってください。理由コードに関する情報は、IBM WebSphere MQ 資料にあります。

---

**IIS-CONN-NGBR-0104E** 指定された名前リスト ({キュー名}) が空です

**説明:** 名前リストにキュー名がありません。

## IIS-CONN-NGBR-0113E • IIS-CONN-NGBR-0127E

**ユーザーの処置:** 名前リストに 1 つ以上のキューがあるようにしてください。

---

**IIS-CONN-NGBR-0113E** 名前リスト ({名前リスト名})  
のオープンに失敗しました (完了コード:  
{完了コード}、理由コード: {理由コード})

**説明:** Distributed Transaction ステージが名前リストをオープンできませんでした。

**ユーザーの処置:** 「キュー名」プロパティの名前リストに正しいキュー名を指定してください。完了コードおよび理由コードについて詳しくは、WebSphere MQ 資料を参照してください。

---

**IIS-CONN-NGBR-0126E** キュー・マネージャーを指定します。

**説明:** キュー・マネージャー・プロパティは必須ですが、値が指定されていません。

**ユーザーの処置:** 「キュー・マネージャー名」プロパティにキュー・マネージャー名を指定してください。

---

**IIS-CONN-NGBR-0127E** 入力リンク {リンク番号} は {コネクタ・ステージ} 用に構成されていますが、コネクタはローカル・トランザクション・モードをサポートしません。

**説明:** 「グローバル・トランザクション」プロパティが「使用不可」に設定されている場合に、ローカル・トランザクション・モードをサポートしないコネクタ用に 1 つ以上の入力リンクが構成されています。

**ユーザーの処置:** 入力リンクの「コネクタ」プロパティでローカル・トランザクションをサポートするコネクタを選択してください。

---

## 付録 A. 製品のアクセシビリティ

IBM® 製品のアクセシビリティ対応状況についての情報を入手できます。

IBM InfoSphere® Information Server 製品のモジュールおよびユーザー・インターフェースは完全にはアクセシビリティ対応がなされていません。

IBM 製品のアクセシビリティ対応状況の詳細は、[http://www.ibm.com/able/product\\_accessibility/index.html](http://www.ibm.com/able/product_accessibility/index.html) の IBM 製品のアクセシビリティ情報をご覧ください。

### アクセシビリティ対応資料

IBM Knowledge Center には、製品のアクセシビリティ対応資料が用意されています。IBM Knowledge Center では、ほとんどの Web ブラウザーで表示可能な XHTML 1.0 形式で資料を提供しています。IBM Knowledge Center では XHTML を使用しているため、使用しているブラウザーに設定されている表示形式で資料を表示できます。さらに、スクリーン・リーダーやその他の支援技術を使用して、資料にアクセスすることもできます。

IBM Knowledge Center にある資料は、PDF ファイルでも提供されますが、こちらは完全にはアクセシビリティ対応がなされていません。

### IBM のアクセシビリティに対する取り組み

アクセシビリティに関する IBM のコミットメントの詳細については、IBM Human Ability and Accessibility Center を参照してください。





---

## 付録 B. コマンド・ライン構文の読み方

この資料では、特殊文字を使用してコマンド・ライン構文を定義しています。

次の特殊文字によってコマンド・ライン構文が定義されます。

- [ ] オプションの引数を識別します。大括弧で囲まれていない引数は必須です。
- ... 前の引数に複数の値を指定できることを示します。
- | 同時には使用できない情報であることを示します。区切り文字の左側の引数か、右側の引数のどちらか一方を使用できます。単一のコマンド使用で、両方の引数を使用することはできません。
- { } 同時には使用できない一連の引数を囲みます。この内の 1 つは必須です。引数がオプションの場合、引数は大括弧 ([ ]) で囲まれます。

注:

- 引数の最大文字数は 256 です。
- 埋め込みのスペースがある引数値は、単一引用符または二重引用符で囲みます。

例:

```
wsetsrc[-S server] [-l label] [-n name] source
```

*source* 引数は、**wsetsrc** コマンドで唯一必須の引数です。他の引数は大括弧で囲まれています。これは、これらの引数がオプションであることを示します。

```
wlsac [-l | -f format] [key... ] profile
```

この例で、**-l** および **-f format** 引数は、同時には使用できないもので、オプションでもあります。*profile* 引数は必須です。*key* 引数はオプションです。*key* 引数のあとの省略符号 (...) は、複数の *key* 名を指定できることを示します。

```
wrb -import {rule_pack | rule_set}...
```

この例で、*rule\_pack* および *rule\_set* 引数は同時には使用できませんが、どちらか 1 つの引数は指定する必要があります。また、省略符号 (...) は、複数の *rule\_pack* または *rule\_set* を指定できることを示します。





## 付録 C. 構文図の見方

本書で使用される構文図には、以下の規則が適用されます。

- 構文図は、左から右、上から下に、線に沿って読みます。以下の規則が使用されます。
  - >>--- 記号は、構文図の始まりを示します。
  - ---> 記号は、構文図が次の行に続くことを示します。
  - >--- 記号は、構文図が前の行から続いていることを示します。
  - --->< 記号は、構文図の終わりを示します。
- 必須項目は、水平線 (メインパス) 上にあります。



- オプション項目はメインパスの下に表示されます。

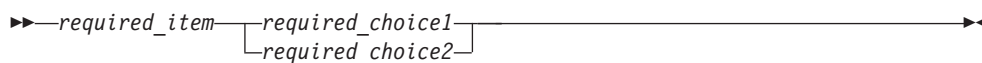


オプション項目がメインパスの上に表示される場合、その項目は構文要素の実行に影響せず、単に読みやすくするために使用されます。

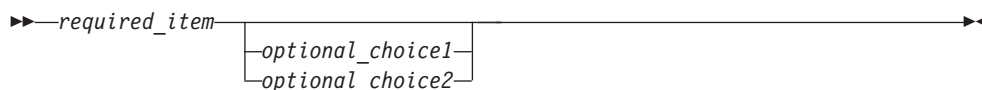


- 複数の項目から選択できる場合は、それらの項目を縦に並べて (スタック) 示しています。

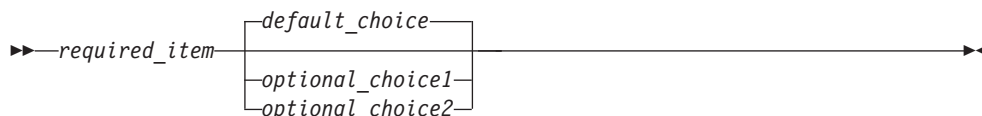
項目の 1 つを選択する必要がある場合は、スタックの 1 つの項目がメインパス上に示されています。



項目から 1 つをオプションで選択できる場合、スタック全体がメインパスよりも下に示されます。



項目の 1 つがデフォルトである場合は、その項目はメインパスの上に表示され、残りの選択項目は下に示されます。



- メインラインの上に、左へ戻る矢印がある場合には、項目を繰り返して指定できることを示しています。



繰り返しの矢印にコンマが含まれている場合は、繰り返し項目をコンマで区切らなければなりません。

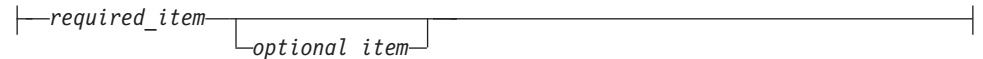


スタックの上の反復矢印は、スタック内の項目を反復できることを示します。

- 構文図が、複数のフラグメントに分かれている場合があります。構文フラグメントはメインの構文図とは別に示されますが、フラグメントの内容は、図のメインパス上にあるものとして読む必要があります。



#### fragment-name:



- キーワードは大文字で表示され、最小の省略形が存在する場合にはそれも大文字で表示されます。示されているとおりに入力する必要があります。
- 変数は、すべて小文字のイタリック体 (例えば、`column-name`) で表示されます。これらは、ユーザーが指定する名前または値を表します。
- 図の中に句読点がない場合は、キーワードおよびパラメーターを 1 つ以上のスペースで区切ります。
- 句読記号、括弧、算術演算子、およびその他の記号は、図に示されているとおりに入力してください。
- 脚注は、(1) のように、括弧の中に数字を入れた形で示されます。

## 付録 D. IBM の窓口

お客様サポート、ソフトウェア・サービス、製品情報、および全般情報について、IBM と連絡を取ることができます。また、製品についてのフィードバックを行うことができます。

次の表に、お客様サポート、ソフトウェア・サービス、研修、製品およびソリューション情報に関するリソースをリストしています。

表1. IBM リソース

リソース	説明と場所
IBM サポート・ポータル	サポート情報は、 <a href="http://www.ibm.com/support/entry/portal/Software/Information_Management/InfoSphere_Information_Server">www.ibm.com/support/entry/portal/Software/Information_Management/InfoSphere_Information_Server</a> で、製品と関心のあるトピックを選択してカスタマイズできます。
ソフトウェア・サービス	ソフトウェア、IT、およびビジネス・コンサルティング・サービスについての情報は、「ソリューション」サイト <a href="http://www.ibm.com/businesssolutions/jp/ja">www.ibm.com/businesssolutions/jp/ja</a> にアクセスしてください。
My IBM	<a href="http://www.ibm.com/account/jp/ja/">www.ibm.com/account/jp/ja/</a> の「My IBM」サイトでアカウントを作成し、特定のテクニカル・サポートのニーズに合うように、IBM Web サイトおよび情報へのリンクを管理できます。
研修と認定	個人、法人、および公共団体向けに、IT 技術の習得、維持、最適化を目的としてデザインされた技術研修およびサービスについては、 <a href="http://www.ibm.com/training">http://www.ibm.com/training</a> にアクセスしてください。
IBM 担当員	ソリューションについて IBM 担当員と連絡を取るには、 <a href="http://www.ibm.com/connect/ibm/us/en/">www.ibm.com/connect/ibm/us/en/</a> にアクセスしてください。



---

## 付録 E. 製品資料へのアクセス

資料は、オンラインの IBM Knowledge Center、オプションでローカルにインストールしたインフォメーション・センター、PDF のブックといったさまざまな形式で提供されます。製品クライアント・インターフェースから、オンラインまたはローカルにインストールしたヘルプに直接アクセスすることができます。

IBM Knowledge Center は、InfoSphere Information Server の最新情報を探すのに最適な場所です。IBM Knowledge Center には、スイートのすべての製品モジュールの全資料のほか、ほとんどの製品インターフェースのヘルプも含まれています。IBM Knowledge Center は、インストール済み製品から開くことも、Web ブラウザーから開くこともできます。

### IBM Knowledge Center へのアクセス

オンライン資料にアクセスするには、さまざまな方法があります。

- クライアント・インターフェースで、画面右上の「ヘルプ」リンクをクリックします。
- F1 キーを押します。F1 キーを押すと、通常、クライアント・インターフェースの現行コンテキストを説明するトピックが開きます。

**注:** F1 キーは、Web クライアントでは機能しません。

- 製品にログインしていないときなどに、Web ブラウザーにアドレスを入力します。

すべてのバージョンの InfoSphere Information Server の資料にアクセスするには、以下のアドレスを入力します。

<http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SSZJPZ/>

特定のトピックにアクセスするには、製品 ID とバージョン番号、資料プラグイン名、および URL 内のトピック・パスを指定します。例えば、バージョン 11.3 用のこのトピックの URL は以下のとおりです。(記号「⇒」は、行の継続を表します)

[http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SSZJPZ\\_11.3.0/⇒com.ibm.swg.im.iis.common.doc/common/accessingiidoc.html](http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SSZJPZ_11.3.0/⇒com.ibm.swg.im.iis.common.doc/common/accessingiidoc.html)

#### ヒント:

Knowledge Center には、以下の短縮 URL もあります。

<http://ibm.biz/knowctr>

特定の製品ページ、バージョン、またはトピックの短縮 URL を指定するには、短縮 URL と製品 ID の間にハッシュ文字 (#) を使用します。例えば、すべての InfoSphere Information Server 資料の短縮 URL は、以下のとおりです。

<http://ibm.biz/knowctr#SSZJPZ/>

また、前述のトピックの URL を少し短くした短縮 URL は、以下のとおりです。(記号「⇒」は、行の継続を表します)

```
http://ibm.biz/knowctr#SSZJPZ_11.3.0/com.ibm.swg.im.iis.common.doc/⇒  
common/accessingiidoc.html
```

## ローカルにインストールした資料を参照するヘルプ・リンクの変更

IBM Knowledge Center には、最新版の資料が含まれています。一方、インフォメーション・センターとしてローカル版の資料をインストールして、それを指すようにヘルプ・リンクを構成することも可能です。ローカルのインフォメーション・センターは、お客様の企業でインターネットへのアクセスが提供されていない場合に便利です。

インフォメーション・センターのインストール・パッケージに付属するインストール手順を使用して、任意のコンピューターにそれをインストールします。インフォメーション・センターをインストールして開始した後、サービス層のコンピューターで **iisAdmin** コマンドを使用して、製品の F1 とヘルプ・リンクで参照する資料の場所を変更できます。(記号「⇒」は、行の継続を表します)

### Windows

```
IS_install_path¥ASBServer¥bin¥iisAdmin.bat -set -key ⇒  
com.ibm.iis.infocenter.url -value http://<host>:<port>/help/topic/
```

### AIX® Linux

```
IS_install_path/ASBServer/bin/iisAdmin.sh -set -key ⇒  
com.ibm.iis.infocenter.url -value http://<host>:<port>/help/topic/
```

ここで、<host> はインフォメーション・センターがインストールされたコンピューターの名前、<port> はインフォメーション・センターのポート番号です。デフォルトのポート番号は 8888 です。例えば、デフォルト・ポートを使用するコンピューター `server1.example.com` 上の URL 値は、`http://server1.example.com:8888/help/topic/` になります。

## PDF およびハードコピー資料の入手

- PDF ファイルのブックはオンラインで利用可能で、サポートの文書 <https://www.ibm.com/support/docview.wss?uid=swg27008803&wv=1> からアクセスできます。
- IBM 資料は、オンラインでダウンロード、または IBM 担当員を通じてご注文いただけます。資料をオンラインでダウンロードするには <http://www.ibm.com/e-business/linkweb/publications/servlet/pbi.wss> の IBM Publications Center にアクセスしてください。

---

## 特記事項および商標

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。この資料は、IBM から他の言語でも提供されている可能性があります。ただし、ご利用にはその言語版の製品もしくは製品のコピーを所有していることが必要な場合があります。

### 特記事項

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒103-8510  
東京都中央区日本橋箱崎町19番21号  
日本アイ・ビー・エム株式会社  
法務・知的財産  
知的財産権ライセンス渉外

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Corporation  
J46A/G4  
555 Bailey Avenue  
San Jose, CA 95141-1003 U.S.A.

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性があります。その測定値が、一般に利用可能なシステムのものと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確認できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者をお願いします。

IBM の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があります、単に目標を示しているものです。

本書はプランニング目的としてのみ記述されています。記述内容は製品が使用可能になる前に変更になる場合があります。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

著作権使用許諾:

本書には、さまざまなオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されて



います。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほのめかしたり、保証することはできません。これらのサンプル・プログラムは特定物として現存するままの状態を提供されるものであり、いかなる保証も提供されません。IBM は、お客様の当該サンプル・プログラムの使用から生ずるいかなる損害に対しても一切の責任を負いません。

それぞれの複製物、サンプル・プログラムのいかなる部分、またはすべての派生的創作物にも、次のように、著作権表示を入れていただく必要があります。

© (お客様の会社名) (西暦年). このコードの一部は、IBM Corp. のサンプル・プログラムから取られています。© Copyright IBM Corp. \_年を入れる\_. All rights reserved.

この情報をソフトコピーでご覧になっている場合は、写真やカラーの図表は表示されない場合があります。

## プライバシー・ポリシーに関する考慮事項

サービス・ソリューションとしてのソフトウェアも含めた IBM ソフトウェア製品（「ソフトウェア・オファリング」）では、製品の使用に関する情報の収集、エンド・ユーザーの使用感の向上、エンド・ユーザーとの対話またはその他の目的のために、Cookie はじめさまざまなテクノロジーを使用することがあります。多くの場合、ソフトウェア・オファリングにより個人情報が収集されることはありません。IBM の「ソフトウェア・オファリング」の一部には、個人情報を収集できる機能を持つものがあります。ご使用の「ソフトウェア・オファリング」が、これらの Cookie およびそれに類するテクノロジーを通じてお客様による個人情報の収集を可能にする場合、以下の具体的事項を確認ください。

このソフトウェア・オファリングは、展開される構成に応じて、セッションごとの Cookie または永続的な Cookie を使用する場合があります。製品またはコンポーネントがリストされていない場合、その製品またはコンポーネントは Cookie を使用しません。

表 2. InfoSphere Information Server 製品およびコンポーネントによる Cookie の使用

製品モジュール	コンポーネントまたは機能	使用される Cookie の種類	収集するデータ	データの目的	Cookie の無効化
すべて (InfoSphere Information Server インストール済み環境の部分)	InfoSphere Information Server Web コンソール	<ul style="list-style-type: none"> <li>セッション</li> <li>永続</li> </ul>	ユーザー名	<ul style="list-style-type: none"> <li>セッション管理</li> <li>認証</li> </ul>	無効にできない

表 2. InfoSphere Information Server 製品およびコンポーネントによる Cookie の使用 (続き)

製品モジュール	コンポーネントまたは機能	使用される Cookie の種類	収集するデータ	データの目的	Cookie の無効化
すべて (InfoSphere Information Server インストール済み環境の部分)	InfoSphere Metadata Asset Manager	<ul style="list-style-type: none"> <li>セッション</li> <li>永続</li> </ul>	個人情報でない	<ul style="list-style-type: none"> <li>セッション管理</li> <li>認証</li> <li>拡張されたユーザーのユーザビリティ</li> <li>シングル・サインオン構成</li> </ul>	無効にできない
InfoSphere DataStage®	Big Data File ステージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>セッション</li> <li>永続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユーザー名</li> <li>デジタル署名</li> <li>セッション ID</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>セッション管理</li> <li>認証</li> <li>シングル・サインオン構成</li> </ul>	無効にできない
InfoSphere DataStage	XML ステージ	セッション	内部 ID	<ul style="list-style-type: none"> <li>セッション管理</li> <li>認証</li> </ul>	無効にできない
InfoSphere DataStage	IBM InfoSphere DataStage and QualityStage® Operations Console	セッション	個人情報でない	<ul style="list-style-type: none"> <li>セッション管理</li> <li>認証</li> </ul>	無効にできない
InfoSphere Data Click	InfoSphere Information Server Web コンソール	<ul style="list-style-type: none"> <li>セッション</li> <li>永続</li> </ul>	ユーザー名	<ul style="list-style-type: none"> <li>セッション管理</li> <li>認証</li> </ul>	無効にできない
InfoSphere Data Quality Console		セッション	個人情報でない	<ul style="list-style-type: none"> <li>セッション管理</li> <li>認証</li> <li>シングル・サインオン構成</li> </ul>	無効にできない
InfoSphere QualityStage Standardization Rules Designer	InfoSphere Information Server Web コンソール	<ul style="list-style-type: none"> <li>セッション</li> <li>永続</li> </ul>	ユーザー名	<ul style="list-style-type: none"> <li>セッション管理</li> <li>認証</li> </ul>	無効にできない
InfoSphere Information Governance Catalog		<ul style="list-style-type: none"> <li>セッション</li> <li>永続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユーザー名</li> <li>内部 ID</li> <li>ツリーの状態</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>セッション管理</li> <li>認証</li> <li>シングル・サインオン構成</li> </ul>	無効にできない
InfoSphere Information Analyzer	InfoSphere DataStage and QualityStage Designer クライアントの中の Data Rules ステージ	セッション	セッション ID	セッション管理	無効にできない

この「ソフトウェア・オファリング」が Cookie およびさまざまなテクノロジーを使用してエンド・ユーザーから個人を特定できる情報を収集する機能を提供する場合、お客様は、このような情報を収集するにあたって適用される法律、ガイドライ

ン等を遵守する必要があります。これには、エンドユーザーへの通知や同意の要求も含まれますがそれらには限られません。

このような目的での Cookie を含むさまざまなテクノロジーの使用の詳細については、IBM の『IBM オンラインでのプライバシー・ステートメント』 (<http://www.ibm.com/privacy/details/jp/ja/>) の『クッキー、ウェブ・ビーコン、その他のテクノロジー』および『IBM Software Products and Software-as-a-Service Privacy Statement』 (<http://www.ibm.com/software/info/product-privacy>) を参照してください。

## 商標

IBM、IBM ロゴおよび [ibm.com](http://www.ibm.com)<sup>®</sup> は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、<http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml> をご覧ください。

以下は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

Adobe は、Adobe Systems Incorporated の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Intel、Itanium は、Intel Corporation または子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標です。

Microsoft、Windows および Windows NT は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

UNIX は The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

Java<sup>™</sup> およびすべての Java 関連の商標およびロゴは Oracle やその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。



---

## 索引

日本語, 数字, 英字, 特殊文字の順に配列されています。なお, 濁音と半濁音は清音と同等に扱われています。

### [ア行]

お客様サポート  
連絡先 13

### [カ行]

構文  
    コマンド・ライン 9  
コマンド  
    構文 9  
コマンド・ライン構文  
    規則 9

### [サ行]

サポート  
    お客様 13  
商標  
    リスト 17  
製品資料  
    アクセス 15  
製品のアクセシビリティ  
    アクセシビリティ 7  
ソフトウェア・サービス  
    連絡先 13

### [タ行]

特殊文字  
    コマンド・ライン構文での 9  
特記事項 17

### [マ行]

メッセージ・リファレンス  
    Distributed Transaction 1

## W

Web サイト  
    IBM 以外 11







Printed in Japan

SC43-1548-00



日本アイ・ビー・エム株式会社  
〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町19-21